



日本勤労者山岳連盟
Japan Workers Alpine
Federation

〒162-0814
東京都新宿区新小川町5番24号
電話 03-3260-6331
Fax 03-3235-4324
E-mail jwaf@jwaf.jp
HP http://www.jwaf.jp
発行責任者 川嶋 高志

連絡や情報は下記へ
フリーダイヤル(10時~18時)
0120-442-742

ROUSAN 登山ニュース

全国登山第35回総会



▲総会会場に参加した代議員



▲リモート参加の代議員
発言通告を出して発言



▲総会議案の説明報告風景

日本勤労者山岳連盟は2月に第35回総会を都内で開催した。総会は、代議員による会場参加・リモート参加方式で行われ、活動方針・予算・必要な規約改正・登山基金の交付改善の規定改定などが確認され、35期(2年任期)の役員が選出された。

「権利としての登山」を掲げて 新しい登山文化を創り出そう!

第35回総会を終えて

新たな地平へ……

全国連盟理事長 **川嶋 高志**

2年に一度の総会が終了し、新役員が選出された。会長が5歳、理事長が14歳、事務局長が18歳と全体的に若返った。会員数が減少しつつあり、前途多難な船出ではあるが、保険業法の改悪、自然災害や地球温暖化の脅威、そしてコロナ禍を乗り越え、登山文化をますます発展させる決意を登山全体で共有した。かたや1931年以前に生まれ、90歳を超える会員が全国に23名(このうち100歳が1名)在籍されている。山の仲間として先輩がご健在であることは私たちの大きな励みである。総会資料集にも紹介しているので、決議・決定集でのご健勝を共に祝いたい。

安全登山について
日進月歩で進化する登山器具の使用手法、高齢化による体力・筋力の衰えなど、多方面から対策を検討しているが、事故件数はなかなか減少しない。今年はずに4名の死亡事故報告が届いた。抜本的な遭難対策として、やはりリーダーや指

(2面につづく)

主な記事

- 2面 第35期全国連盟役員紹介
- 3面 ウクライナにロシア軍侵攻の反対声明
- 4面 登山事故防止の緊急アピール
- 5面 登山基金の優れた補償内容
- 6~7面 青森勤労者の登山教室開催で会員拡大の取り組み紹介
- 8面 山筋ゴーゴ・サポーター養成講座

第35期全国連盟役員紹介

日本勤労者山岳連盟第35期総会で選出された全国役員

会長 (東京都連盟)

浦添 嘉徳

副会長 (鹿児島県連盟)

今村 正一

副会長 (岩手県連盟)

渡邊 健治

理事長 (東京都連盟)

川嶋 高志

副理事長 (千葉県連盟)

石川 昌

副理事長 (東京都連盟)

白井 邦徳

副理事長 (埼玉県連盟)

久保 典子

副理事長 (栃木県連盟)

今野 善伸

事務局長 (東京都連盟)

小池 藍

理事 (宮城県連盟)

赤間 弘記

理事 (石川県連盟)

浅瀬 和人

理事 (香川県連盟)

阿部 哲也

理事 (東京都連盟)

石川 友好

理事 (東京都連盟)

大和田英子

理事 (埼玉県連盟)

佐藤 久子

理事 (神奈川県連盟)

三瓶 健

理事 (青森県連盟)

清野 嘉樹

理事 (東京都連盟)

田上 千俊

理事 (静岡県連盟)

竹本 幸造

理事 (東京都連盟)

新田 尚弘

理事 (兵庫県連盟)

野々脇千沙

理事 (京都府連盟)

平尾 繁和

理事 (島根県連盟)

三代 一宏

理事 (埼玉県連盟)

武笠 真次

理事 (栃木県連盟)

八木澤昌通

理事 (千葉県連盟)

山本 尚徳

理事 (北海道道央連盟)

山本 裕之

理事 (愛知県連盟)

吉川 幸一

理事 (福岡県連盟)

吉永 直樹

(1面からつづく)

導者教育の必要性を痛感している。

安全登山のためには、頭の機能の使い方工夫がいろいろではないかと最近感じている。例を挙げるなら、目や耳に入る情報量増加への対応が挙げられる。以前は新聞・ラジオ・テレビぐらいが情報源だったが、今はIT機器を通して情報が溢れている。だが、忘れられがちだが、情報を活かすには複雑な状況に応じて適切な選択をする判断力が必要になる。

監事 (東京都連盟) 田村 廣史
監事 (神奈川県連盟) 渡辺 三男
があっても、情報量が多くても、判断を間違えれば命取りになりかねない。判断力を育てるには、一人よりも組織で取り組む方が効果的である。
私はダブルチェックを日常生活に取り入れており、家や車のカギは二人で確認するのを習慣としている。同じように山行計画書も会・クラブの山行管理者だけでなく、参加者全員で必ず確認するように、習慣化していただきたい。山行計画書の提出は、義務として所属団体や山行管理者のために行うのではない。あくまで山行する会員本人の安全のために山行計画書はある。所属団体による事前の計画書確認と下山連絡が組織登山者の安全登山に関する大きな特典だと考える。

平和でこそ登山ができる

決議」を採択した。

ロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻は、国民の住宅や病院、避難場所へのロシア軍の砲火によって市民および子どもたちが犠牲になつている。プーチン大統領は、核戦力を念頭に軍事侵攻を示唆する発言も行い、国際連合および国際社会からも非難されている。

このような軍事侵攻に対し、全国労山は「ウクライナへのロシアによる侵攻を糾弾し、直ちに軍事行動を中止することを求めます」との「会長談話」(全文左記)を3月2日に発表した。京都府連盟も3月6日の総会で「ウクライナ侵略を断固糾弾し、ロシア軍の即時撤退を求める

山岳四団体(日本山岳会、日山協、全国労山、日本ガイド協会は、3月22日「ロシアによるウクライナ軍事侵攻に反対する声明」を発表。新日本スポーツ連盟は、3月1日「どのような理由でも武力侵攻は許されない、自ら提案した「オリンピック休戦」決議にも違反する」声明を発表した。

会長談話

ウクライナへのロシアの軍事的侵略行為は、国連憲章、国際法を踏み越えるものであり、直ちに軍事行動を中止することを求めます

また、プーチン大統領は、核戦力を念頭に軍事侵攻を示唆する発言も行つています。核兵器の使用・

た歴史的な経験から、「平和と登山」を高く掲げ、平和であつてこそ登山海外登山ができることを主張してまいります。

絶対にはなならないものです。軍事攻撃によってウクライナで生活するすべての人々は生命を脅かされ、幼子までが犠牲になつています。

2022年3月2日
日本勤労者山岳連盟会長 浦添 嘉徳

は、ロシアによるウクライナ侵攻を糾弾するとともに、軍事作戦を直ちに中止し、核戦力の威嚇を行わないことを強く求めるものです。

威嚇も核兵器禁止条約で禁じられている行為です。日本勤労者山岳連盟は、登山の正常な発展が戦争によって著しく阻害され

ロシアによるウクライナ軍事侵攻に反対する声明 2022年3月22日

わたしたち、山岳スポーツおよびスポーツクライミングを愛好するものは、世界のいかなる武力による侵略、戦争行為に反対し、平和と民主主義の回復を切望します。

また、戦争行為に巻き込まれ、避難せざる得ない人々を支援いたします。

ウクライナやロシア出身者に対する誹謗中傷や差別などの不当な行為に反対します。

Statement
We Protest Ukraine war

We, mountaineering and sport climbing enthusiasts, oppose any armed invasion or act of war in the world and long for the restoration of peace and democracy.

We also support people who are involved in warfare and have no choice but to evacuate.

We oppose unjust acts such as accusation and discrimination against people from Ukraine and

山岳四団体
公益社団法人日本山岳会
公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
日本勤労者山岳連盟
公益社団法人日本山岳ガイド協会

Russia.
The Japanese Alpine Club
Japan Mountaineering & Sport Climbing Association
Japan Workers Alpine Federation
Japan Mountain Guides Association

積雪期登山事故防止の 取り組みについてー緊急アピールー

2022年3月 日本勤労者山岳連盟 遭難対策部

昨年の労山内の死亡事故は4名であったが、今年に入って1〜2月ですでに4名の死亡事故が発生した。このままでは、今後重大事故の発生が続出する恐れがあることから、全国労山遭対部は、全国の地方連盟に事故防止の取り組みについての緊急アピールを送信した。全国連盟の

緊急アピール全文

あたり前のことだが、山で死んでほしくない。しかし、2022年に入った1月〜2月のわずか2か月間で、4名の死亡事故が発生した。

今年1月から積雪期登山の事故が多発している中、死亡事故が4件（4名）発生した。前年（21年）は、年間で4

緊急アピールは各会・クラブの会員にまで送信されたところもある。

これから、ゴールデンウィークを迎える。警察庁の発表では、昨年のGWの遭難者は191名、死者は26名、行方不明者が3人だった。緊急アピールに込めて「安全登山」を心がけてもらいたい。

名の死者数であったが、助隊に心肺停止で発見・搬送され、その後死亡が確認された。さらに2月下旬、宮崎県の鉢岳で、60代の男性が心筋梗塞による死亡との事故一報が入った。それぞれの事例では

1月中旬、八ヶ岳連峰天狗岳で道迷いにより70代の女性、1月下旬、南アルプスの荒川 出合2ルンゼをアイスクライミング後の下山

中滑落で20代の男性、2月上旬、大山で北壁登攀後に8合目付近で行動不能の50代の男性が、各地の山岳救

・悪天予報に対応していない行動

- ・天候悪化による道迷い
- ・ピバグ用装備の不携帯
- ・積雪期登山の技術不足
- ・日頃からの体調管理を怠っている

以上の要因が重なり事故

が発生していると考えられる。コロナ禍における心理的・物理的制約から登山日数が減少し、筋力・体力も知らず知らずのうちに低下している。さらに加齢による基礎体力の衰えも考え合わせ、体調管理には特に留意していただきたい。また山行に際しては、コロナ対応で医療体制が厳しい中、遭難事故を起こさないために、より慎重な計画と判断を心がけて欲しい。

積雪期登山については

- ・不測の事態に対応できる装備の確認
- ・直近のルートの状況をできる限り把握する
- ・最新の天気予報を確認し、天候の変化を的確に判断する

・ネットでの情報を安易に受けない（情報量が多いと自分に都合の良い情報を取り入れる）以上の点を十分に考えて登山を行ってほしい。

- ・パーティ各自の体力や技術を充分に認識する
- ・特に今年は積雪が多い地域状況を考慮し、悪天の予報時は登山中止を検討す

・ネットでの情報を安易に受けない（情報量が多いと自分に都合の良い情報を取り入れる）以上の点を十分に考えて登山を行ってほしい。

☆低体温症が要因とする事故については、本人が気づかず血の巡りが悪くなり、正常な判断ができなくなるので、強風にさらされる、濡れる、行動が止まるなど、身体が冷やされるなどが予想される場合は、そのような状況になる前に対策を講じる。

☆時間に余裕のある計画を立てた上で、計画より遅れた場合は引き返す行動も心掛ける。

労山基金 (労山山岳事 故対策基金) の優れた補償内容

他の山岳保険等と比較し

労山基金 補償の優位性

労山基金制度は、全国連盟に加 とき、会員の加入回数に応じて救 盟する会・クラブの所属会員が山 助・捜索費用や傷病補償を行う互 行中の事故により死亡、あるいは 助制度。運営は全国連盟が行い、 傷病で多大な経済的負担を被った 要望に応じて改善している。



他の山岳保険等では、入・ 通院の補償を行っていると ころはなく、労山基金だけ である。

死亡交付も他の山岳保険より優位

山で死んで「はならない」を 合言葉に山歩きを楽しむもの だが、不慮の事故もある。そ のために労山基金では死亡・ 後遺障害補償（5口加入で1 00万円）も行っている。

入・通院の補償制度

他の保険等では実施していない

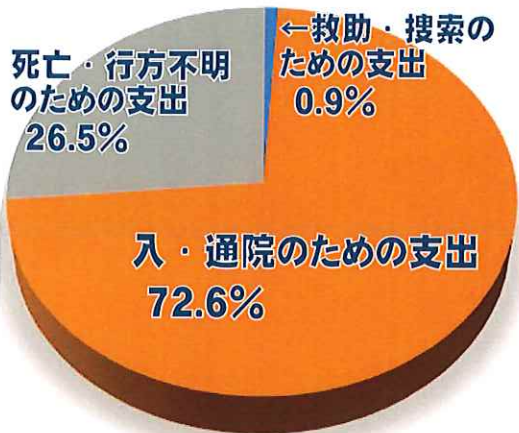
山の遭難事 でなく、遭難・負傷した場 故でかかる費 合、入・通院の医療費も大 用は、捜索・ きな負担となる。 救助費用だけ 左記の円グラフで、昨年

の労山基金からの交付金額 の分析表を見ると、救助・ 捜索費用の交付金額は0・ 9%、入・通院の費用の交 付金額は72・6%で、圧 倒的に入・通院のための費 用補償に支出されている。

他の保険で死亡交付などを 行っているのは、モンベル山 岳保険だけである。 また、海外登山・トレッキ ングなどでの事故の補償を

体的にした

遭難者の安否確認や身柄の 保護のために、当該団体が現 地に要員を派遣する必要が生 じた場合、交通費の実費（限 度額50万円）支払いの細則 が分かりにくい、という意見 が寄せられていた。これを「救 助捜索費用を申請する場合は、 この者が救助捜索に加わった 場合交付する」と明確化した。



▲2020年に労山基金で支出された主なもの

主な改善点

■救助捜索費用交付の増額

他の山岳保険よりも交付を さらに充実させるため、会員の加入回数300倍交付から、加入初年度は400倍

■入通院日数を現実的なものに改善

入院は3〜210日だったのを2〜210日に。通院は3〜50日だったのを1〜50日に改善した。

■文章の表現を明瞭にして具

体的にした

元気な山岳会
であるために

会員を拡大し100名の会を

——青森勤労者山岳会——



実技山行 八甲田大岳

青森勤労者山岳会は、このままでは大きな成果を上げた。この活動は2月平均年齢が高齢化して会に活力がなくなるの35期総会でも紹介された。青森勤労者山岳会の成田茂則委員長に取りね、コロナ禍の中、会員拡大のために、組みについて報告していただいた(6.本格的な「登山教室」開催に取り組み 57面で紹介)。

青森勤労者山岳会・運営委員長 **成田 茂則**

危機を気づかせた全国評議会

2019年に就任、9月の50周年記念講演会を287名集め成功、11月記念山行・玉山も終了し、

ちよつと一息つき第33期第1回評議会の決定集に目を通す余裕が出来た。

平均年齢に目が留まる、3月末68・7歳の記憶が残っていた中、全国62・92歳、青森県66・64歳と当会の平均年齢の高さ

京都洛中労山の活動に学んで

早速一昨年の1月の運営委員会、当会の平均年齢の推移表と京都洛中勤労者山岳会の報告を基に議論し、このまま推移すれば、10年後は77歳と予想、10年後当会は登山が出来ているのか、会が存続の危機に瀕しているとの認識で一致した。

に危機感を持った。

過去を調べてみた、30周年52・3歳、40周年60・9歳、2020年の50周年69歳超だった。

全国の先進会から学ぼうと全国連盟の資料を探し、目に留まったのは第16回全国登山研究集会の「会員を増やすことが最大の記念行事である」との京都洛中勤労者山岳会の報告。頭を殴られた思いであった。

活動の

三本柱を樹立

運営委員会では、10年後も生き生きとした会にするため、①会員拡大に力を入れ100名の会を目指し、②趣意書の「みんなでお考え、みんなで計画を立て、みんなで運営する」会活動を展開する、③主に一般を対象に自立した登山者を育てる登山教室を開催する、という三本柱を立てて2020年度から活動していくこととなった。

2020年は コロナ禍で縮小実施

コロナ禍で座学会場が閉館になる等、三本柱の活動を棚上げせざるを得ませんでした。教室は春予定を秋に延期、前年と同じ座学・実技各1回実施した。



【写真】座学で、山行計画書を作成して発表する受講生

2021年 登山教室

中年層に大好評で大盛況

定員30名に60名が応募

自立した登山者を育てる

自立した登山者 4回(プラス1回)とも
者を育てるた 検温等コロナ感染対策を行
め、これまでの い実施し。

登山教室のカリ 座学① 「装備」、「地図の見
キラムを改 方・コンパスの使い方」(ハ
訂、内容を充実 イキングABCを使用)
して開催した。 座学② 「計画の立て方」
座学③ 「救急法」 修了式



実技 八甲田・雛岳山頂

実技①+オプシヨン実技②
「歩き方」「地図の見方・コ
ンパスの使い方」実技③「景
観と高山植物」を楽しむ。
実技④櫛ヶ峯で「体力養成」
をはかる。※実技は、座学の
①②③参加者のみ。

青森市が後援

座学3回、実 座学② 「計画の立て方」
座学③ 「救急法」 修了式

参加者を集めるため、①青
森市の後援を得て市の広
報に募集記事掲載、②運営委
員が手分けして公共の図書
館、体育館、市民センター、
スポーツ店等への宣伝チラ
シの配布。③ホームページに
募集記事掲載、④会員がロコ
ミで宣伝した。

申込者は定員30名の倍
の60名もあり、関心の高
さが浮き彫りになった。

また狙い通り50歳以下
が前年の41%から63%
の参加に。参加者数は一般
が延べ163名、会員が延
べ86名が参加。

今回の取組みは、コロナ
禍で感染リスクの低い野外
スポーツである登山に向か
う人が増えている状況下、
当会がコロナ感染対策を取
りつつ若年層に魅力ある登
山教室を開催したことが青
森市民に好印象を与えたも
のと思われる。

座学の会場確保、運営等、
運営委員の協力、実技のサ
ポート等多くの会員の積極
的参加、会全体の協力がこ
うした成果の源となった。

新しい仲間16名を迎える

登山教室の取組み、シニ
ア向け山行の新設、ホーム
ページ改編の相乗効果によ
り、ここ20年余で最高の
16名の新しい仲間を迎え
謝している。

【Sさん】労山の皆様にはお
世話になりとても楽しく経験さ
せていただきました。コロナ禍
で大人数・初心者をも引き連れ
ての教室開催は大変なことだっ
たと思います

参加者の感想

【Oさん】自
分一人では行
けないような
山に登ることが出来て良かった
です。また歩き方や気を付ける
こと、花の名前など、登山中に
たくさんのことを教えていただ
き、充実した楽しい登山教室で
した。

【Mさん】登山に必要な知識
や心構え等を学べ、実技で歩

山筋ゴーゴー体操サポーター養成講座

21年12月11、12日

全国連盟事務所会議室で開催

コロナ禍で山筋ゴーゴーして合格した。

参加者の感想

体操のサポーター養成講座の開催も出来ない状態だったが、昨年の12月全国連盟主催で養成講座を開催した。参加者は、長野県連盟から1名、埼玉県連盟から2名で、全員がサポーターと

★受講者にやってみせて分かってもらうには、正しい動きと意味が分かっていないといけないし、それをわかりやすい言葉で伝えることが大切だと思いました。

★筋肉の正しい動かし方を学べてよかった。今後の課題として筋肉の名称とその筋肉が登山でどのように役立つかの説明ができるようにします。

★私にとっては思いもかけない方向に導かれ喜びがあられていきます。これからサポーターとして精いっぱい頑張つてやらせて頂きます。

サポーター養成講座の参加者



UAA 総合登山技術ハンドブック 販売中(定価2000円)

UAA 総合技術ハンドブック販売中

翻訳者 全国労山理事・国際部長

大和田 英子氏

日本勤労者山岳連盟で創立60周年を記念して「UAA 総合登山技術ハンドブック」が翻訳・出版された。このハンドブックは単なる登山技術を記載しただけのものではなく、仲間や自分

Advertisement for 'T-shirts' (Tシャツ) featuring the mountain logo and '山筋ゴーゴー体操' (Yama-jin Goo-goo Taijyo). It includes pricing (1200 yen + 100 yen shipping), a list of benefits (e.g., quick-drying, moisture-wicking), and contact information for the organizing committee.